



2026年6月9日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 e n i s h
住 所 東 京 都 港 区 六 本 木 六 丁 目 1 番 2 0 号
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 徳 孝 平
(コード番号：3667)
問 い 合 せ 先 管 理 本 部 管 理 本 部 長 高 木 和 成
TEL.03 (6447) 4020

Solana トレジャリー戦略の高度化に向けた 株式会社 SOL プラネットとの協議開始に関するお知らせ

当社は、Solana を活用したアクティブ・トレジャリー事業の推進に関連し、Solana ブロックチェーン領域における国内エコシステムパートナーである株式会社 SOL プラネット（以下「SOL プラネット」といいます。）との間で、当社の Solana デジタルアセット・トレジャリー戦略の高度化に向けた協議を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 協議開始の背景

当社は、2026年6月3日付「Solana を活用した『アクティブ・トレジャリー事業』に関するお知らせ」において、Solana ブロックチェーンのネイティブトークンである SOL を中核デジタルアセットとするアクティブ・トレジャリー事業を推進する方針を公表いたしました。

近年、企業による暗号資産の保有および運用、いわゆる Digital Asset Treasury (DAT) への取り組みは世界的に拡大しております。一方で、従来型の DAT モデルは暗号資産価格の上昇による評価益に依存する側面が大きく、企業価値向上との継続的な連動という観点では課題も存在すると当社は認識しております。

当社は、こうした「保有中心」の DAT を「DAT1.0」と捉える一方、デジタルアセットを活用した収益創出や事業成長との循環を伴う「DAT2.0」の実現を目指しております。その一環として、当社は単なる SOL 保有にとどまらず、保有資産の安全性、透明性及び効率性を重視した運用体制の構築を重要な経営課題として位置付けております。

このたび、Solana 関連インフラ及びエコシステム支援に関する知見を有する国内パートナーである SOL プラネットとの協議を開始することで、当社の Solana デジタルアセット・トレジャリー戦略の高度化を図ることといたしました。

2. 協議の目的

SOL プラネットは、Solana ブロックチェーンに特化した企業向け支援を行っており、ブロックチェーンインフラの構築・運営、デジタルアセット戦略支援及びエコシステム成長支援等を展開しております。

当社は、同社との協議を通じて、Solana ネットワークに関する技術的・運用的知見を取り込みながら、アクティブ・トレジャリー事業の実効性及び持続可能性の向上を図ることを目的としております。

また、本協議は短期的な収益獲得を目的とするものではなく、当社が Solana エコシステムとの連携を深めながら、中長期的なデジタルアセット運用基盤を構築するための戦略的な取り組みとして位置付けております。

3. 主な協議内容

当社及び SOL プラネットは、今後、以下の事項を中心に検討を進めてまいります。

(1) バリデーター関連領域の検討

当社は、SOL プラネットが提供する Solplanet White Label Validation Program の活用可能

性を含め、Solana ネットワークにおけるバリデーションインフラ及びその運営体制について検討を進めてまいります。同プログラムは、企業が自社ブランドで Solana バリデーターを構築・運営することを支援する企業向けインフラストラクチャ・ソリューションであり、バリデーターの設計、ノード構築、監視、アップデート、障害対応、パフォーマンス改善、ステーキング及びデリゲーション設計、オンチェーンでの運用状況の可視化、ならびに委任獲得に向けたエコシステム連携等を包括的に支援するものです。

当社は、本プログラムに関する SOL プラネットの知見を活用することで、Solana ネットワークへの安全かつ戦略的な参加に向けた運用基盤の構築、保有 SOL のステーキング運用の高度化、将来的な外部委任獲得の可能性、ならびにバリデーター関連事業及びホワイトラベル型バリデーション事業の可能性について検討してまいります。また、各種ステークプログラム等、Solana エコシステム上の委任機会も視野に入れながら、可用性、透明性、分散性及びガバナンスを重視した運用体制の構築について検討してまいります。

(2) Solana エコシステムとの連携

当社は、Solana エコシステムとの接続を強化し、ネットワーク参加者としての知見を蓄積するとともに、将来的な事業機会及びエコシステム貢献の可能性についても検討してまいります。特に、SOL プラネット及びその関係者が有する海外の主要 Solana プロジェクトとの連携知見も参考にしながら、ステーキング、デリゲーション、バリデーション及び DeFi 領域を含む Solana エコシステムとの接続可能性を検討してまいります。

なお、現時点において具体的な事業開始、サービス提供、収益計上又は業務提携契約等が決定しているものではありません。

4. 期待される効果

当社は、本協議を通じて、単なる暗号資産保有にとどまらない運用型デジタルアセット戦略の実現を目指しており、Solana ネットワークとの接続強化を通じて中長期的な企業価値向上につなげてまいります。また、Solana デジタルアセット・トレジャリー企業としての運営基盤の強化を図るとともに、以下のような効果を期待しております。

- ・デジタルアセット運用に関する知見の蓄積
- ・ステーキング及びデリゲーションを活用した運用体制高度化の検討
- ・Solana エコシステムとの関係強化
- ・バリデーター関連領域における事業機会の探索
- ・ガバナンス及びリスク管理体制の向上
- ・DAT1.0 から DAT2.0 への移行に向けた実践的な運用ノウハウの獲得

当社は、単なる暗号資産保有企業ではなく、デジタルアセットを活用した価値創出を目指す企業として、中長期的な企業価値向上に取り組んでまいります。

5. 株式会社 SOL プラネットの概要

- (1) 名称 : 株式会社 SOL プラネット
- (2) 所在地 : 東京都渋谷区広尾一丁目2番1号
- (3) 代表者 : 代表取締役 CEO 野坂 幸司
- (4) 事業内容 : Solana 関連事業、ブロックチェーンインフラ構築・運営支援等
- (5) 設立年月日 : 2025年11月4日

SOL プラネットは、Solana ブロックチェーンに特化した企業向け戦略・技術支援を行う企業であり、Solana バリデーター構築・運営支援、デジタルアセット・トレジャリー戦略支援、Solana エコシステムとの連携支援等を提供しております。同社のチーム及び関係者は、Solana バリデーターを4年以上にわたり継続運営してきた実務経験を有しており、日本関連バリデーターにおける最大級の委任額を含む運用実績を有しています。また、海外の主要 Solana プロジェクト、リキッド・ステーキング・トークン (LST) 及びレンディングプロトコル等 DeFi との連携知見も有しており、バリデーターの安定

運用、委任獲得、オンチェーンでの運用可視化、Solana エコシステム内での認知形成に関する実務知見を蓄積しています。

なお、本日時点において、当社と SOL プラネットとの間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

6. 今後の見通し

本件は、当社のSolana デジタルアセット・トレジャリー戦略の高度化に向けた協議開始に関するものであり、2026年12月期の当社業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

また、本件は短期的な業績寄与を目的とするものではなく、当社が推進するアクティブ・トレジャリー事業及びDAT2.0戦略の基盤整備の一環として位置付けております。

当社は今後、Solana エコシステムにおける有力パートナーとの連携を通じて、アクティブ・トレジャリー事業の推進、デジタルアセット運用体制の強化及び新たな事業機会の創出に取り組んでまいります。

今後、具体的な契約締結、事業開始その他開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上